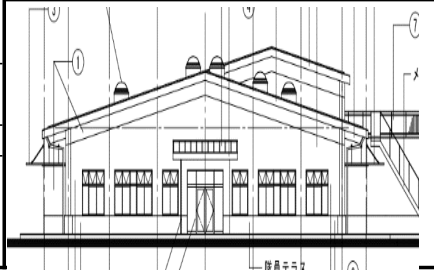


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松外(30 補)隊舎新設等建築その	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市西区西山町無番地(船)	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年 予定	評価の実施日	2020/2/5
敷地面積	2,968,377 m ²	作成者	木村 憲一
建築面積	3,525 m ²	確認日	2020/2/15
延床面積	3,101 m ²	確認者	南関東防衛局長



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	CASBEE静岡2016年版による評価結果です。耐用年数の高い内装材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F★★★★を使用している。そして、壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。全館禁煙である。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して89%。
Q2 サービス性能	耐用年数が高い内装仕上げ材と給排水配管材を使用している。そして、階高: 3.9m以上。また、[壁長さ比率] < 0.1。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマ使用している。ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要				
建物名称	浜松外(30 補)隊舎新設等建築その他工事(食厨房)	BEE	1	BEEランク B+ ★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5	ふつつ		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5	ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上	ふつつ 3点以上	がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。 ②耐用年数が高い給排水配管材を使用している。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ③BPI_m=0.78。 ④BEI_m=0.87。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑤節水コマ使用している。 ⑥LGSを使用している。 ⑦ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑧ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して89%。 	Q-1 2 2.1 2.2 ① 外皮性能	2.1 2.2	① 外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備	3.1 3.1.3	② 昼光利用設備	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ③ 昼光制御	2.2 2.2.1	③ 昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.2 ④ 躯体材料の耐用年数	2.2 2.2.2	④ 躯体材料の耐用年数	
	Q-2 2 2.2 2.2.3 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.2 2.2.3	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
Q-2 2 2.2 2.2.4 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.2 2.2.4	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
Q-2 2 2.2 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔	2.2 2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
Q-2 2 2.2 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔	2.2 2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
Q-2 2 2.2 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	2.2 2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔		
Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出	3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出		
Q-3 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上		
LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	4 4.1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制		
LR-1 2 ⑧ 自然エネルギー利用	4 4.2	⑧ 自然エネルギー利用		
LR-1 3 ⑨ 設備システムの高効率化	4 4.2	⑨ 設備システムの高効率化		
LR-1 4 ⑩ モニタリング	4 4.2	⑩ モニタリング		
LR-1 4 4.2 ⑩ 運用管理体制	4 4.2	⑩ 運用管理体制		
LR-2 1 ⑪ 節水	1.1 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無	⑪ 節水		
LR-2 1 1.2 1.2.1 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	1.2 1.2.1	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無		
LR-2 2 2.1 1.2 ⑫ 材料使用量の削減	2.1 1.2	⑫ 材料使用量の削減		
LR-2 2 2.1 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用	2.1 2.1.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用		
LR-2 2 2.1 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	2.1 2.1.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用		
LR-2 2 2.1 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	2.1 2.1.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
LR-2 2 2.1 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材	2.1 2.1.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材		
LR-2 2 2.1 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	2.1 2.1.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み		
LR-2 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用	3 3.1	⑬ 有害物質を含まない材料の使用		
LR-2 3 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤	3 3.2 3.2.1	⑬ 消火剤		
LR-2 3 3.2 3.2.2 ⑬ 断熱材	3 3.2 3.2.2	⑬ 断熱材		
LR-2 3 3.2 3.2.3 ⑬ 冷媒	3 3.2 3.2.3	⑬ 冷媒		
LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮	2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮		
LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	3.3	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性	2.1 2.1.1	⑯ 耐震性	
	Q-2 2 2.4 2.4.1 ⑰ 免震・制振性能	2.4 2.4.1	⑰ 免震・制振性能	
Q-2 2 2.4 2.4.2 ⑰ 空調・換気設備	2.4 2.4.2	⑰ 空調・換気設備		
Q-2 2 2.4 2.4.3 ⑰ 給排水・衛生設備	2.4 2.4.3	⑰ 給排水・衛生設備		
Q-2 2 2.4 2.4.3 ⑰ 電気設備	2.4 2.4.3	⑰ 電気設備		
Q-2 2 2.4 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法	2.4 2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法		
Q-2 2 2.4 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備	2.4 2.4.5	⑰ 通信・情報設備		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	3.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱階高:3.9m以上。 ⑲[壁長さ比率]<0.1。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画		
	Q-2 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり	3 3.1 3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
Q-2 3 3.1 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	3 3.1 3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ		
Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.7	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 ■敷地外環境対策 (⑳温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出	2 ⑲ ⑳ ⑳	⑳ 生物環境の保全と創出	
	Q-3 2 ㉒ ⑲ ⑲ ⑲	2 ㉒ ⑲ ⑲ ⑲	㉒ まちなみ・景観への配慮	
	Q-3 3 3.2 ㉓ ⑲ ⑲ ⑲	3 3.2 ㉓ ⑲ ⑲ ⑲	㉓ 敷地内温熱環境の向上	
LR-3 2 2.2 ⑳ 温熱環境悪化の改善	2 2.2	⑳ 温熱環境悪化の改善		